

次世代の医療を担う モニタリングソリューション ベッドサイドモニタ CSM-1500/1700シリーズ



生体情報モニタは、患者さんの心電図、血圧、心拍数などの生体情報（バイタルサイン）を連続的に測定し、血圧が急に下がった場合など容態の変化をアラームでお知らせして、患者さんの安全をサポートする医療機器です。

CSM-1500/1700シリーズは、次世代の医療を担うモニタリングソリューションをコンセプトに開発した生体情報モニタです。上位機種であるCSM-1900の機能を継承し、容態変化を確実に捉えて迅速な診断や治療をサポートするとともに、搬送用モニタとの連携により入院から退院まで途切れることなく患者さんをモニタリングできます。

また、生体情報モニタとしては初となる、超音波検査画面をUSB接続だけで表示できる機能を新たに搭載しました*。救急外来などで外傷の患者さんの体内に出血があるかどうかを、素早く確認することができます。

* CSM-1701/1702のみ対応。



使いやすさが進化した一体型 全自動血球計数・免疫反応測定装置 MEK-1303



血球計数器は、患者さんの血液に含まれる赤血球・白血球・血小板などの「血球の数」を測定する医療機器で、血液疾患や感染症などの様々な疾患の有無を発見することができます。また、免疫反応測定装置は、体内で炎症が起きた時に血液中で増加する「CRP（C反応性蛋白質）」を測り、感染症の重症度などを確認することができます。

MEK-1303は、「使いやすさが進化した一体型」をコンセプトに、血球計数器と免疫反応測定装置を1台にコンパクトにまとめた当社初の装置です。本製品は、高い測定精度と検査時間の短縮を実現するとともに、採血管のキャップを取らずにそのまま挿入して検査を実施できるという他社にはない特徴があり、医療従事者の血液感染リスクの低減に役立つといった優位性を備えています。

当社独自の技術と工夫を搭載し、安全で使いやすさを追求した本製品は、多くの医療現場で活躍することが期待されます。